

参加&発表募集

汽水域研究会 2015 年(第 7 回)東北大会

汽水域研究会第 7 回目の大会は、宮城県仙台市にある東北大学青葉山東キャンパスを会場として開催します。昨年の北海道に続き、東北地方での開催となります。時間が経つのは早く、東日本大震災が起きた 2011 年 3 月 11 日から 4 年が過ぎました。

日々流れる様々なニュースの中で、被災地以外の地域では東北地方の現状や抱えている問題からだいぶ距離が離れてしまっているのではないかと思います。しかしながら、地域で発生する自然災害への対処と関わり方は、場所がどこであれ共通する課題があり、私たちは東北地方から深く学ぶことがまだまだたくさんあるはずです。

特にこうした“自然災害”は、沿岸汽水域の環境と地史を特徴づける“自然現象”の一つでもあり、そこには様々な基礎的・応用的研究課題があるはずです。

東北地方で初となる本大会が、東北の沿岸汽水域と人との関わりに学び、日本や世界の各地域で活躍される会員の皆様の大切な糧になることを確信しています。

杜の都・仙台へ多くの会員の皆様のご参加を心からお待ちしています。

【日時】

2015 年 10 月 2 日 (金)・3 日 (土)・4 日 (日)

(10 月 3 日午前 9 時 30 分より受付開始)

【会場】

東北大学工学部 青葉山東キャンパス 人間・環境系教育研究棟

シンポジウム・一般講演発表会場 土木大講義室

ポスター・企業展示会場 建築第一講義室

*会場へのアクセス：

<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=f&build=01>

【主催】

汽水域研究会・東北大学大学院工学研究科土木工学専攻

【後援】

国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター

【プログラム】-----

10 月 2 日 (金)

13：15～16：00 エクスカーション 松島湾 (参加費 1 人 2 千円見込み、定員 15 名、先着順)

13：15 旧松島水族館前マリーナ集合 (予定)

* 出雲発羽田行きの朝第一便でも間に合います！

13：30 出航

- 湾内3～4ヶ所でエクマンバージ式採泥器での表層試料採取と観察
- 地震による浦戸諸島の崩落崖
- 潮流発電実験プラント（寒風沢水道）
- 防潮堤建設現場
- アマモ場とアカモク場（津波前後の状況の解説）
- カキ棚、野蒜地区の遠望

16：00 帰港、解散

10月3日（土）

9：30 受付開始

10：00～11：30 一般講演発表

11：30～13：00 ポスター発表（昼食休憩）

13：00～16：00 シンポジウム1

「大津波は松島湾をどう変えたか～底質環境・底生生物の変遷が示唆する持続可能な沿岸域像～」企画：長尾正之（産総研）（下記講演者に○）

1. 松島湾の地形と流れ ○長尾正之・山崎宗広（産総研）・新谷哲也（首都大）・高橋暁（産総研）
2. 津波による堆積相・生物相の激変は地質記録にどう残るか？ 藤原 治（産総研）
3. 松島湾内の現世底生有孔虫群集の変遷～大津波の影響と大津波後の変化～ 河潟俊吾（横国大）・○田中裕一郎（産総研）・長尾正之（産総研）・藤原治（産総研）・鈴木淳（産総研）・入月俊明（島根大）・吉岡薫（千葉県庁）・河野重範（栃木県博）・西村修（東北大）・藤林恵（秋田県立大）・佐々木久雄（NPO 法人環境生態工学研究所）
4. 松島湾における2011年東北沖津波堆積物の特徴 ○入月俊明（島根大学）・吉岡薫（千葉県庁）・鈴木淳（産総研）・田中裕一郎（産総研）・長尾正之（産総研）・藤原治（産総研）・河潟俊吾（横国大）・河野重範（栃木県博）・西村修（東北大）・佐々木久雄（NPO 法人環境生態工学研究所）・藤林恵（秋田県立大）
5. 松島湾堆積物に見られる難分解性有機物・必須脂肪酸・ベントスの挙動 ○西村修（東北大）・藤林恵（秋田県立大）
6. 震災後2年間の松島湾の水質・底質と微生物相の変化 ○坂見知子・村岡大祐（水研セ東北水研）
7. 巨大津波は松島湾の環境をどう変えたか～栄養塩から植物プランクトン群集まで震災前後の比較～ ○奥村裕（水研セ東北水研）・太田裕達・伊藤博・縄田暁・押野明夫（宮城水技セ）
8. 松島湾における藻場再生支援の取り組み ○佐々木久雄（NPO 法人環境生態工学研究所）・大谷孝一（（一財）山形県理化学分析センター）・桜井陽平（東北大院・工）

16:00~17:00 総会

18:00~20:00 懇親会（仙台駅近く；下記に詳細）1人4千円予定

10月4日（日）

9:00~12:00 シンポジウム2

「東北地方の汽水域環境変遷史」

企画：山田和芳（地球環境史ミュージアム）・瀬戸浩二（島根大汽水セ）

1. 趣旨説明と小川原湖の水質環境

瀬戸浩二（島根大学汽水域研究センター）

2. 小川原湖の資源：現状と課題

蛭名秀樹（小川原湖漁協）★招待講演

3. 小川原湖・十三湖のベントス群集からみた東北地方の汽水性生物の多様性

園田 武（東京農業大学）

4. 環境磁気研究からみた小川原湖の底質環境

林田 明（同志社大学）

5. 小川原湖堆積物からみた近過去の環境変化と塩分密度流の発生のタイミング

瀬戸浩二（島根大学汽水域研究センター）

6. 小川原湖を襲った縄文津波

山田和芳（地球環境史ミュージアム）

7. ボーリングコアから明らかにされた小川原湖の生い立ち

篠塚良嗣（立命館大学）

【参加費】

要旨集代 1,000円

エクスカージョン 2,000円（見込み）

懇親会費 4,000円（見込み）

【発表要項】

- **沿岸汽水域（estuary＝淡水から海水まで）に関するのなら、どんなテーマでも、どんな分野でも、どんな所属でも、発表大歓迎です！ふるってご応募願います！！**

<一般講演発表>

- 発表時間 1名15分（質疑応答込み）
- パワーポイントスライド使用、ファイルは当日受付へ提出

<ポスター発表>

- コアタイム 10月3日11:30~12:00
- それまでに各自教室内の壁指定場所に展示願います。サイズは縦210×横90cm

以内でお願いします。展示ポスターは総会終了までに各自片付けて下さい。

<各種展示>

- 大会会場に展示スペースを設けます。企業団体等で展示ご希望の方は別紙「企業(団体)展示の募集要項」をご覧ください。

<広告掲載>

- 大会講演要旨集に広告を募集いたします。掲載をご希望の企業(団体)は別紙「広告掲載の募集要項」をご覧ください。

【申込方法】

1. 参加のみ

- 参加申込は、別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、メールまたは郵送でお申し込みください。
- メールの場合、件名を「汽水域研究会東北大会参加申込書」としてください。

2. 一般講演またはポスター発表する場合

- 発表を申し込む場合は、参加申込書の他に発表要旨を提出してください。要旨の原稿は、書式および見本にしたがって作成してください。
- 要旨原稿には図や表を入れて構いませんが、白黒になります。

【締め切り】

大会参加申込 2015年9月14日(月)

一般講演・ポスター発表の要旨提出 2015年9月14日(月)

エクスクーションの参加申込 2015年9月14日(月)

***参加のみの場合も事前申込をお願いします。また、当日参加もOKです。**

【大会開催時の昼食など】

- 東北大キャンパス内学生食堂、売店が利用できます。

【懇親会】

10/3(土) 18:00~20:00

場所：自遊庵 ねぎぼうず 仙台市青葉区中央 2-6-22 森屋ビルB 1F 022-262-4355

地図：<http://loco.yahoo.co.jp/place/g-v3UDn90mm8M/map/>

【問い合わせ先および申込先】

汽水域研究会 2015年(第7回)大会 実行委員会

電子メール：t3sonoda@bioindustry.nodai.ac.jp

電話：0152-48-3905 FAX：0152-48-3922

担当：園田 武(大会幹事)